

研究集会「阿蘇山の噴火活動・マグマ水蒸気爆発を理解する」
熊本大学教育学部, 2017/02/27(月)

相対重力観測による 広帯域火山活動モニタリング —阿蘇山および桜島における事例—

風間卓仁 (京大理)

吉川慎・大倉敬宏 (京大理・AVL)

西島潤 (九大工)

本発表のまとめ・今後の課題

- 重力観測は質量移動を直接的に捉えられる → 広帯域の重力観測によって、質量移動の観点から火山現象を理解できると期待される
- 阿蘇火山活動を高時間分解能で理解するために
 - 繰り返し相対重力観測の高頻度化
 - 火口直近における相対重力連続観測
- 熊本地震の影響を吟味
 - 地震時重力変化は？ 重力基準点AVLの代替点は？